

若松我等

題字は

初代監督 松島正吉先生

H. 7. 2. Vol. 7-1

第12号

■陸上部後援会

会長 鈴木章介
(第7回卒)



O.Bの皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般行われました全国駅伝大会出場に際し多大なご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

本大会で入賞をと期待しておりましたが、2時間8分57秒という好記録にもかかわらず、18位という結果でありました。優勝記録は、2時間3分21秒という驚異的な記録が出るようなハイレベルになり、来期に向け常に全国に目を向けた日頃の練習に監督、選手一丸となって頑張りたいと思います。

今後も皆様の期待に添うよう執行部一同努力致しますので、よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ御礼の言葉といたします。

■陸上部父母の会

会長 菅谷伸司



寒さ厳しい折、皆様方におかれましては益々御健勝の事とお喜び申し上げます。日頃、陸上部の活動に、ご理解、御協力厚く御礼申し上げます。

この度の全国高校駅伝出場に際しましては、物心とも絶大な御支援、御尽力を賜わり誠に有難うございました。

結果は、応援団、選手一同満足できる順位ではありませんでしたが、精一杯走ったと思います。

皆様方の期待に応える事が出来ませんが、今後更に努力精進し、浜商陸上部の伝統を守る様、頑張ってくれることと思います。

今後も、御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。

第45回 全国高校駅伝大特集

■陸上部監督

杉井将彦

(第34回卒)



希望にあふれる新年を迎え、先輩諸兄の皆様方には、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

平素は、浜松商業高校陸上競技部に多大なる御支援、御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月25日に京都で行われました第45回全国高等学校駅伝競走大会に本校陸上競技部が2年連続、12回目の出場をしました。本年は記念大会であり、58校が出場するレベルの高い大会となりました。

12時30分、西京極陸上競技場をスタートし、1区古田哲弘(2年)は、落ち着いたレース運びで仙台育英ジェンガを追う第2集団で好位置をキープ、ラスト1kmを2分45秒で走りきり区間2位、タイムも29分37秒と2年生最高(過去最高は渡辺康幸(現早大)の29分42秒)の快走でした。その後も、少しずつ順位を下げはしたが、2区木下浩(3年)5位、3区藤田健(3年)9位、4区村松寛久(2年)10位、5区河合恵太(1年)

9位と、5区を終って入賞ラインの9位で頑張っていました。6区河合恵介(3年)が頑張りはしたが17位、7区藤本和也(1年)18位と全国の壁は厚く、結果的には2時間8分57秒と9分を切ることはできませんでしたが、前年の6分27秒からは大きく後退してしまいました。しかし、1年生河合恵太、藤本和也の頑張り、村松寛久の粘り、そして何よりもエース古田哲弘の成長が来年に向けて明るい材料となりました。

選手達は、レース後宿舎まで走って帰り、翌日も4時30分から朝練習を、そして1月3日朝4時に集合し、合宿に向かいました。

今年は、浜商記録の更新と、全国高校駅伝優勝を目指し頑張っていきたいと考えていますので、これからも宜しく御支援、御鞭撻の程をお願い申し上げます。

【浜松商】		区間 順位	総合 順位	区間 タイム
1区(10*o)	古田 哲弘(2年)	2	2	29分37秒
2区(3*o)	木下 浩(3年)	46	5	8分51秒
3区(8.1075*o)	藤田 健(3年)	24	9	25分28秒
4区(8.0875*o)	村松 寛久(2年)	30	10	24分48秒
5区(3*o)	河合 恵太(1年)	29	9	9分18秒
6区(5*o)	河合 恵介(3年)	46	17	15分47秒
7区(5*o)	藤本 和也(1年)	22	18	15分08秒

男子第45回全国高校駅伝競走大会成績—7区間42.195*o

(タイムの前の丸囲み数字は通過順位。カッコ内は区間順位とタイム)

順位	校名	1区(10*o) 選手名 位 時間	2区(3*o) 選手名 位 時間	3区(8.1075*o) 選手名 位 時間	4区(8.0875*o) 選手名 位 時間	5区(3*o) 選手名 位 時間	6区(5*o) 選手名 位 時間	7区(5*o) 選手名 位 時間
①	西脇工 (近畿)	石本 ②9.43	黒田 ②38.04 (⑧8.21)	小島 ②1.02.21 (② 24.17)	木庭 ②1.25.45 (① 23.24)	芳養 ①1.34.40 (① 8.55)	岡田 ①1.49.01 (① 14.21)	前田 ①2.03.21 (① 14.20)
②	仙台育英 (宮城)	ジェン ①28.57	大宮 ①37.36 (⑧8.39)	マイタ ①1.01.03 (① 23.27)	田中 ①1.25.37 (② 24.34)	山口 ②1.34.43 (⑤ 9.06)	四家 ②1.49.54 (④ 15.11)	武田 ②2.04.51 (② 14.57)
③	報徳学園 (兵庫)	新庄 ③30.38	西田 ③39.09 (④8.31)	松下 ③1.03.53 (⑥ 24.44)	高橋 ③1.27.52 (② 23.59)	山口 ③1.36.52 (⑥ 9.00)	平野 ③1.51.57 (⑥ 15.05)	永井 ③2.06.25 (② 14.28)
④	田村 (福島)	小川 ④30.17	佐藤修 ④38.40 (②8.23)	馬場 ④1.03.33 (⑧ 24.53)	鈴木 ④1.27.37 (② 24.04)	本田 ④1.36.38 (⑧ 9.01)	佐藤賢 ④1.51.13 (② 14.35)	大槻 ④2.06.33 (③ 15.20)
⑤	倉敷 (岡山)	吉田 ⑤29.39	小池 ⑤38.07 (⑦8.28)	大原 ⑤1.02.53 (⑦ 24.46)	森谷 ⑤1.27.16 (② 24.23)	三上 ⑤1.36.20 (③ 9.04)	坪井 ⑤1.51.51 (④ 15.31)	樋口 ⑤2.06.43 (⑤ 14.52)
⑥	大牟田 (福岡)	原口 ⑥29.41	倉掛 ⑥38.11 (⑧8.30)	国武 ⑥1.03.26 (⑤ 25.15)	大和 ⑥1.27.55 (⑤ 24.29)	原田 ⑥1.37.04 (③ 9.09)	織田 ⑥1.52.34 (③ 15.30)	村上 ⑥2.07.28 (⑨ 14.54)
⑦	立命館宇治 (京都)	渡辺 ⑦30.43	舟川 ⑦39.27 (④8.44)	黒田 ⑦1.04.15 (⑧ 24.48)	飯田 ⑦1.28.23 (⑥ 24.08)	南 ⑦1.37.23 (⑥ 9.00)	森田 ⑦1.52.23 (⑤ 15.00)	池田 ⑦2.07.29 (⑤ 15.06)
⑧	清風 (大阪)	大崎 ⑧30.25	西岡 ⑧38.54 (⑧8.29)	森川 ⑧1.04.11 (⑦ 25.17)	渋谷 ⑧1.28.37 (③ 24.26)	吉井 ⑧1.37.40 (① 9.03)	山本 ⑧1.52.54 (④ 15.14)	上野 ⑧2.07.41 (④ 14.47)
⑨	生田東 (南関東)	金城 ⑨30.35	美尾 ⑨39.05 (⑧8.30)	藤本 ⑨1.04.18 (④ 25.13)	白井 ⑨1.29.16 (④ 24.58)	永嶺 ⑨1.38.12 (② 8.56)	大津 ⑨1.53.14 (⑧ 15.02)	斉藤 ⑨2.08.07 (⑦ 14.53)
⑩	熊本工 (熊本)	玉目 ⑩31.26	堀 ⑩40.02 (③8.36)	牛島 ⑩1.05.04 (① 25.02)	島田 ⑩1.29.16 (⑦ 24.12)	須藤 ⑩1.38.14 (④ 8.58)	椎葉 ⑩1.53.15 (⑦ 15.01)	三嶋 ⑩2.08.10 (① 14.55)

浜商悔し18位



大会記録に肉薄

29分37秒

1区
古田快走

浜商・古田⑤は「花の一区」で力走し、2位で木下ヘタスキをつなぐ＝鳥丸鞍馬口の第1中継所

これまでではレース当日、牛乳を飲むことが通例となっていたが、「雑誌で読んだらあまり良くないようなので」（古田）と、この日はやめた。都大路を初めて走る二人の1年生に、3年生を付けようと言いだしたのも、古田だった。「駅伝はチームプレーだから、みんながまとまらないと」

遠くに見える仙台育英・ジェンガの背中を追いつながら、古田が勝負に出た。残り1キロを切った時点で、5人の集団が崩れ始める。古田行宏（倉敷3年）のスパートに、迷わず食らいつく。「余裕がありました」と振り返るように、ストライドがグンと伸びた。29分37秒。第26回大会で鶴崎工・西村義弘が樹立した29分29秒、第42回の市立船橋・渡辺康幸の29分34秒に匹敵するタイムで、タスキをリレーした。「これぐらいは出ると思っていました。ここに照準を合わせていましたからね」と、満足そうな表情をみせた。杉井将彦監督（31）も「静岡にもこれだけの選手がいるんです。それにしても素晴らしい！」と言葉を失った。

兄弟リレーも涙
浜松商の河合恵太（1年）恵介（3年）の兄弟リレーが実現した。9位でタスキを兄に渡した恵太は「兄の目を見ました。でも不安だった」と言う。その予言が的中し、恵介が区間46位と振るわず、17位に落ちてしまった。「せっかく入賞できる順位だったのに。僕のせいだ！」と恵介の涙は止まらなかった。

と、古田は話す。
インタハイは五千メートル9位、国体は出場せず、中1以来続けてきた全国タイトルが途絶えた。調子を年末のこの日に合わせていたからだ。注目が集まる花の1区で、ジェンガに勝つ。その夢は果たせなかったが、「日本人1位」であることに変わりない。
古田の好走だけが目立っていたが「残る1、2年生は来年の主力。来年もう一度、5位以内を狙います」と、杉井監督の表情が明るい。村松寛久（2年）河合恵太（1年）ら、全国レベルの選手が残るからだ。古豪浜松商が、エース古田を擁して来年、再びメダル奪取に挑戦する。

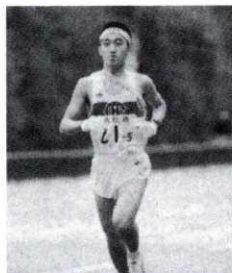
激走!! 都大路

1区 古田 哲弘 (2年)



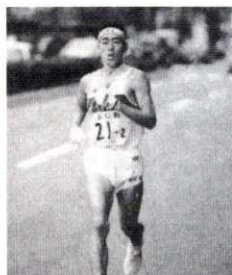
満足のいく走りが出来た。本年はジェンガと勝負にならなかったが、練習をつみ来年は外人選手と勝負したい。

5区 河合 恵太 (1年)



今年は余力が出せなかった。来年は必ず優勝できる様頑張りたい。

2区 木下 浩 (3年)



二年連続都大路を走ることが出来、先生や父兄OBの皆さまに感謝しています。納得のいく結果は出なかったが後輩に期待します。

6区 河合 恵介 (3年)



自分の力が出しきれず残念だった。弟とのタスキリレーには感激した。来年1年間は優勝目ざして、苦しい練習を乗り切ってほしい。

3区 藤田 健 (3年)



静岡県では全国駅伝史上2番目の記録なので満足している。今年のチームは全国出場が目標のチームであったが、来年は入賞が目標のチームであるので2°06'37を是非破ってほしい。

7区 藤本 和也 (1年)



沿道の大観衆に緊張しまくった。記録的には、14分台で走りきりたかった。来年も又都大路を走りたい。

4区 村松 寛久 (2年)



今までの中で一番良く走れたと思う。来年は古田と共に優勝をねらう。

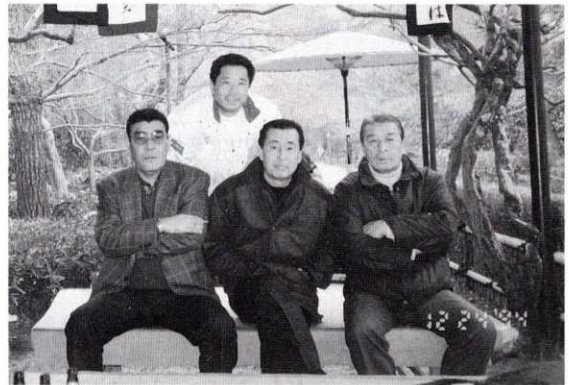
京都駅伝紀行 パートⅡ

ー昨年の準優勝応援メンバーがそのまま今回も京都へやってきました。中年駅伝応援団（平均年齢56才!）4人組。

まず初日は嵐山観光!! 古くから多くの人々を魅了してきた嵐山、嵯峨野。竹林の葉ずれに耳を傾けながら、やわらかな風景の中に点在する風情ある神社やお寺を巡り、そして人気のロマンチックトレイン「トロッコ列車」で嵯峨野より亀山駅まで約10kmの旅、紅葉の名残で想像力を働かせ、眼下に保津川下りの船、まさに走るリゾートを満喫し心と身体のリフレッシュ!「きっと明日は8位以内の入賞か!」…そして旅荘へ着きました。

藤原一族の所縁の土地であった閑静な住宅地の中、かつては華族の邸宅であったという「洛陽荘」。東山36峰の山並みを眼前に望み、近くには平安神宮、南禅寺、清水寺など多くの社寺があり、京都らしい雰囲気を満喫できる旅館でした。

明けて25日、都大路の上空を覆う雲の下、花の1区で古田が激走! 価値ある2位（29分37秒、1区歴代4位、ジェンガは別格、実質No.1で最高の走り）で2区へたすきのリレー。自転車による伴走で選手を励まし続けた杉井監督は、冷静にレースを振り返った。『今



前列左より鈴木氏、松田氏、川島氏
後列森氏（筆者）、京都・二尊院にて

回は、この成績で妥当。』と、アンカー藤本、最後の追い上げもむなしく、前回のタイムに大きく及ばずの18位の結果に終わった。その中で1区の古田の走りは素晴らしかった、と賞賛した。『今年こそ、800mの村松を2区に使いたい。1年生も成長し、今年はもっとおもしろいチームができると思う』とすでに46回大会を睨んだ監督の言葉を信じ、今年の県大会を期待してペンを置くことにしよう。

（16回卒 森 幸男）

収 支 報 告

寄 付 金	5,101,840	助 成 金	2,350,000
		応 援 費 用	782,376
		壮 行 会 費 用	51,441
		印 刷 郵 送 費	250,000
		雑 費	200,000
		記 念 品 代	500,000
		繰 越 金	968,023
計	5,101,840	計	5,101,840

ご支援・ご声援ありがとうございました

ユタカ技研株式会社

浜松市豊町 508-1

ムトウ株式会社

浜松市佐藤町 672

中部ガス株式会社 浜松支店

浜松市西塚町 200 番地

取締役支店長 松井 功雄

ガステックサービス 株式会社

浜松市倉松町 4016 番地

浜松南支店 支店長 芥川 淳

各種産業廃棄物の処理

株式会社 太洋サービス

〒431-02 浜松市篠原町 9254-2

TEL <053>447-4640 (代)

FAX <053>449-1029

内山隆司会計事務所

浜松市元城町 113-15

TEL <053>455-2181 (代)

うなぎ販売

(株)相兼商店

第4回卒 相曾保二

静岡県浜松市馬郡町 2348 (JR 東海舞阪駅北)

TEL 053-592-0136 FAX 053-592-0110

焼のり・ちりめん煮干・海産物売

製造販売問屋 (株)堀江商店

第4回卒 堀江正夫

本社 静岡県浜名郡舞阪町舞阪 5286

TEL 053-592-3507 (代) FAX 053-596-1006

編集後記

寒さなおきびしい今日この頃、巷ではかぜも大流行していますが、みなさんお元気でお過ごしでしょうか。

冬の風物詩・京都駅伝、今年も我らが浜商はがんばってくれました。昨年に引き続き、たくさんの皆様に

ご援助いただいて、無事都大路を走ることができました。ご声援本当にありがとうございました。

もはや年末には欠かせない京都駅伝、来年も白にエンジのユニフォームが活躍してくれることを願っています。